

博士・修士渡航助成 事後報告書

この度は国際学会で発表するための渡航費を助成していただき誠にありがとうございました。ここに、学会参加と発表の事後報告をさせていただきます。

報告者； 広域科学専攻 広域システム系 茂木研究室 野澤真一
参加した学会名； Society for Neuroscience 2023
場所； アメリカ合衆国 ワシントン DC
ワシントンコンベンションセンター
会期； 2023年11月11日～2023年11月15日
発表タイトル； Differences in sense of agency evaluated by intention binding effect under flat reward condition. (発表番号: PSTR168.03)

11月11日 「動機付けと感情」と「認知」に関するのポスターを集中して見てまわり、3人の発表者の方々から直接説明を聞いた。意識に関するシンポジウムを聴講。

11月12日 午後のポスターセッションで自分の研究発表を行いました。7～8人の方が来てくださり、説明をしました。うち数名とは Sense of Agency について意見交換することができました。私の研究における Sense of Agency が、通常の文脈で議論される Sense of Agency と同一して良いのかという意見があり、今後の課題となりました。

11月13日 午前・午後通じてポスター発表3件で説明を聞きました。

11月14日 午前にミクログリアの回路形成に関するシンポジウム、夕方に記憶に関するレクチャーを聴講しました。

11月15日 午前に 睡眠に関するレクチャーと 小脳と認知機能に関するミニシンポジウムに参加、またポスターセッションで1件の発表者に説明を聞きました。

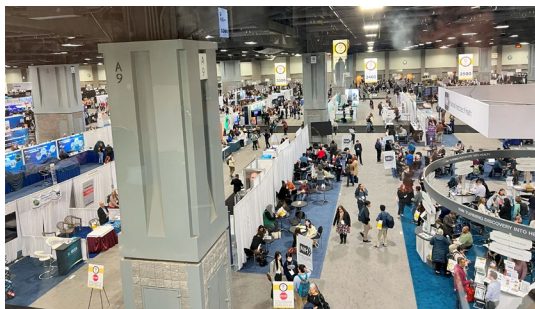


図1 ポスター会場

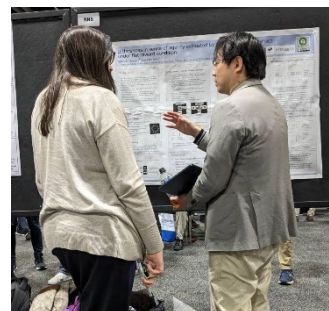


図2 発表する報告者（右）

以上